

特別養護老人ホーム：ケアホームしあわせ 優先入所基準準則

1 目的

この基準は、浜松市が定める浜松市指定介護老人福祉施設等優先入所指針に基づき、特別養護老人ホーム：ケアホームしあわせ（以下「本施設」という。）の施設サービスを受ける必要性が高いと認められる者を優先的に入所させるための基準を明確にし、施設入所の円滑な実施を図ることを目的とする。

2 優先入所方針

優先入所は、別表の入所申込者評価基準により算定された、合計点数の高い順に決定する。

3 優先入所検討委員会

(1) 優先入所検討委員会の設置

施設に優先入所順位の決定をするため、特別養護老人ホーム：ケアホームしあわせ優先入所検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(2) 委員会の構成

委員会の委員は、施設長、生活相談員、介護職員、看護職員、介護支援専門員及びケアホームしあわせの本施設職員並びに施設長が選任する本施設職員以外の第三者の委員で構成する。

(3) 委員会の召集

ア 委員会は施設長が召集し、委員会の議長は施設長が務める。

イ 施設長に事故あるときは、施設長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

4 優先入所決定の手続

(1) 優先入所申込みの受付

ア 本施設への入所申込は、入所申込書（様式1）により行う。なお、入所申込書の有効期限は3年とする。

イ 本施設は、入所申込書に基づき、入所申込者名簿（様式2）を作成する。

(2) 入所申込者の調査

施設は、優先入所調査票（様式3）により入所申込者の状況を調査する。

(3) 優先入所順位の決定

委員会は、優先入所調査票及び入所申込者名簿等の調査結果に基づき優先入所の順位を審査決定し、これに基づく優先入所順位名簿（様式2）を作成する。

(4) 入所の決定

ア 本施設は、委員会において優先入所順位の設定を受けた入所申込者について、指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第39号）第7条第3項（※）に基づき、入所申込者の心身の状況等を把握の上、入所を決定する。

イ 本施設は、市町村から老人福祉法第11条第1項第2号の措置による入所の委託があった場合には、他の入所申込者に優先して入所を決定する。

（※）注：地域密着型特別養護老人ホームの場合、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第34号）第134条第3項

5 優先入所事務の留意事項

(1) 記録の作成及び保存

委員会は優先入所に係る協議の内容を記録し、これを2年間保存するとともに、県又は市町村から求めがあったときは、これを提出するものとする。

(2) 守秘義務

委員会の委員は、委員会において知り得た入所申込者又はその家族に関する個人情報等を漏らしてはならない。委員を退任した後も同様とする。

(3) 説明責任

本施設は、入所申込を受けた時には、入所申込者に対し、この基準の内容を説明するものとする。

(4) 情報の提供

本施設は、入所申込者等から入所順位等の結果について情報を求められた時は、これを提供するものとする。

(5) 疑義等に対する対応

本施設は、入所申込者等から入所順位等の結果について疑義等を申し立てられたときは、再度調査のうえ、委員会に諮るものとする。

附 則

この基準は平成29年4月1日から実施する。

(別表)

入所申込者評価基準

優先入所の点数は、次の1から4までに掲げる項目の点数を合計した点数又は5の点数とする。

1 本人の状況

①	要介護5	50点
②	要介護4	40点
③	要介護3	30点
④	要介護2	10点
⑤	要介護1	5点

2 介護者等の状況

(1) 自宅(2)以外の場所)の場合

①	ひとり暮らしで、介護者がいない	50点
②	介護者が要介護状態、病気療養中又は障害を有することにより、介護が困難	
③	介護者が要支援状態又は高齢者であることにより、介護が困難	40点
④	ひとり暮らしで、介護者がいるが、日常的に介護を受けることが困難	30点
⑤	複数人を介護しているため、介護が困難	
⑥	介護者が就労又は育児をしているため、介護が困難	20点
⑦	①から⑥まで以外の状態であるが、介護が困難	

(2) 介護保険施設等に入院又は入所している場合

①	養護老人ホーム、軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅又は法令で定めるその他の福祉施設(介護付きの施設を除く。)	20点
②	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、グループホーム、①のうち介護付きの施設又は病院	10点

注) 退所又は退院が予定されている場合は、在宅に復帰したものと仮定して、(1)により点数をつける。

3 居住地

①	市内	20点
②	隣接市町内	10点
③	上記①、②以外	0点

4 特別な状況

特に施設入所を考慮すべき状況が認められる場合は、その状況に応じて20点を限度に加算することができる。

5 その他

- (1) 介護者による虐待、介護放棄等により、要介護者の生命・身体に危険が生じている場合については、1から4までの合計点数に関わらず150点とする。
- (2) 6か月以内に入所することを希望しない者については、1から4までの合計点数に関わらず0点とする。

特別養護老人ホーム ケアホームしあわせ 入所申込書

平成 年 月 日

施設長 様

※施設記入欄

初回申込日	平成	年	月	日
-------	----	---	---	---

1 入所申込者の状況

(フリガナ) 氏 名			性 別	生 年 月 日				
			男・女	明・大・昭 年 月 日 (歳)				
住 所	〒 ()							
	TEL							
介護保険	保険者名	市(区) 町・村	被保険者番号					
要介護度	申請中	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5		
入所を希望する時期	1. すぐにでも入所したい 2. 6か月以内には入所したい							
	3. 将来的には入所をしたい							
認知症の状況	有 ・ 無		認知症日常生活自立度	自立	I	IIa	IIb	IIIa IIIb IV M
認知症の具体的症状								
知的障害、精神障害等の状況	*手帳交付の有無、障害の等級等を記載してください。							
居宅サービスの利用状況	*利用サービス、利用頻度、利用期間を記載してください。							
現在の状況	1. 自宅で生活							
	2. 介護保険施設等(住宅型有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅、病院等を含む)に入所 退所予定の有無 有 ・ 無 (有の場合は、退所予定時期)							

※身元引受人等の連絡先 *介護者欄には、主たる介護者に◎、介護協力者に○を記載してください。

(フリガナ) 氏 名			続 柄	介護者
住 所	〒 ()			
	TEL			
(フリガナ) 氏 名			続 柄	介護者
住 所	〒 ()			
	TEL			
(フリガナ) 氏 名			続 柄	介護者
住 所	〒 ()			
	TEL			

(裏面も記入してください。)

(裏面)

2 介護者等の状況 (現在、自宅で生活の場合及び施設に入所しているが退所が予定されている場合に記載)

主たる介護者等の状況で、該当する項目1つに○をつけて、必要事項を記入してください	1. ひとり暮らしで、介護者がいない
	2. 介護者が要介護状態、病気療養中又は障害を有することにより、介護が困難 〔 要介護状態区分:() 病気療養中:(病名等) 障害の等級等:() 〕 介護が困難な状況:
	3. 介護者が要支援状態又は高齢者であることにより、介護が困難 〔 要支援状態区分:(1 ・ 2 ・ 事業対象者) 年齢:(歳) 〕 介護が困難な状況:
	4. ひとり暮らしで、介護者がいるが、日常的に介護を受けることが困難 〔 介護が困難な状況: 〕
	5. 複数人を介護しているため、介護が困難 〔 申込者以外の介護の状況: 〕
	6. 介護者が就労をしているため、介護が困難 〔 就労の状況 (週 回) (1日当たり 時間) (夜勤: 有・無) 〕
	7. 介護者が育児をしているため、介護が困難 〔 育児の状況 (育児の対象 歳児) (育児の頻度: 常時 半日程度 臨時的) 〕
	8. 上記以外の状態で介護が困難 〔 介護が困難な状況: 〕

3 施設入所の状況 (該当する施設に入所している場合に記載)

該当する項目1つに○をつけてください	1. 養護老人ホーム、軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、法令で定めるその他の福祉施設 (介護付きの施設は2へ) (施設名)
	2. 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、グループホーム、1のうち介護付きの施設、病院 (施設名)

4 その他事項 (家族の状況、経済的な事情等、特に介護において困っていることがあれば記載してください。)

--

担当ケアマネジャー	氏名		事業所名	
主治医	氏名		病医院名	

* 入所申込後に本人及び介護者の状況に変化が生じた場合は、必ず御連絡ください。